

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	京丹波町	代表者名	畠中 源一
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル政策課
担当者役職	課長	担当者氏名	田畑 昭彦
住所	6220292 京都府京丹波町蒲生蒲生野487番地1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	DX推進及び窓口DX
概要	令和4年度においてケーブルテレビ事業が民営化し基盤整備が整い、令和5年度においては町のDX推進計画を策定した。今後、議会議員と町職員が一体となって町のDXを推進するために地域情報化アドバイザーから助言、支援をいただきたい。		
支援を求める分野	AI活用 生成AI活用 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 行政手続オンライン化 自治体セキュリティ デジタルデバйд対策 マイナンバー 防災 教育情報化/情報教育 テレワーク RPA導入		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	有	240	令和6年11月21日	フォローアップ	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年12月2日	フォローアップ(オンライン)	10時00分	17時30分	75
				活動時間(分)	375
2-2.	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
派遣場所	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	令和4年度においてケーブルテレビ事業が民営化し基盤整備ができたのは、令和元年度、令和2年度において、地域情報化アドバイザー制度により、井上あい子アドバイザーから助言支援いただいた経過がある。今回、地域情報化アドバイザー制度は3回目となるが、これまでの経緯をご存知である井上あい子アドバイザーに助言及び支援いただくことで、ICTの基礎的な助言及び指導を受けることができた。
アドバイザーへの要望事項	今後、本町に対してご指導いただきたい

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	27人
	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	27	0
		0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和4年度においてケーブルテレビ事業が民営化し町内全域に安定した基盤整備が整い、令和5年度においては町のDX推進計画を策定した。令和6年度においては、デジタル田園都市国家構想交付金を活用して窓口DX化(申請書作成システム、電子申請システム、キャッシュレス、多言語通訳サービス)に取り組んでいるが、今後、町のDX化を推進するには議会議員と町職員が一丸となって進める必要がある。更に国が示す自治体DX推進計画の重点取組事項である行政手続のオンライン化、AI・RPAの推進、セキュリティ対策の徹底、テレワーク推進に加えてデジタルデバйд対策については、特に本町にとっても重要課題と考えている。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	情報技術が進歩する中、職員によるセキュリティ対策及び情報モラル、リテラシースキルを向上することで、行政手続のオンライン化の推進、やさしい窓口の実現(窓口DX化)するなど、町全体のDX推進することで住民等の利便性が向上する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	1回目、2回目の現地での講演や意見交換を受けて、国が示す自治体DX推進計画の重点取組事項である行政手続のオンライン化、AI・RPAの推進、セキュリティ対策の徹底、テレワーク推進に加えてデジタルハイド対策について、地域情報化アドバイザーと職員において意見交換を実施した。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	1回目、2回目の現地での講演や意見交換を行うことで職員の意識改善が図れた中で更に意見交換することにより、職員によるデジタル利活用の理解が深まった。更に、他市町の事例は大変参考になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 職員及びデジタル政策課職員との意見交換	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	意見交換を行うことで職員の意識改善が図られ、今後における町全体のDX化が進み、住民等の利便性に向けて整った。1回目、2回目、更には今回(3回目)を通じて職員のみならず議会議員の意識改善が図られ、DX推進に期待ができる。また、オンラインによる会議をこれまで全く行っていない職員がいる中、オンライン会議を体験することでデジタル利活用の理解がいっそう深まった。今後、何らかの事業で活用していきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 はじめてオンライン接続した職員から「このような機会を設けていただけてありがたかった。また、今後このような機会を設けてほしい。」「オンライン会議を行うことで、事務効率を図られ今後の業務改善につながる」など前向きな意見があった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい 職員の意識改善、情報モラル及びリテラシースキルの向上により、本町DX推進を行う。	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	議会議員及び町職員が一丸となり本町のDX推進を行う。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可
 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

